

岡山県の土地改良

令和2年度農業農村整備事業関係予算確保に向けた要望活動 —岡山県土地改良事業団体連合会・岡山県農業農村整備事業推進協議会合同—

【令和元年8月5日（月）～6日（火）】

岡山県土地改良事業団体連合会石井正弘会長及び田窪行雄副会長（岡山県農業農村整備事業推進協議会副会長）をはじめとする7名で、令和2年度農業農村整備事業関係予算確保に向けた要望活動を行った。要望先は財務省、農林水産省、自由民主党、県選出国會議員等で、安定的・計画的な事業執行実現のため、当初予算の確保を要望した。

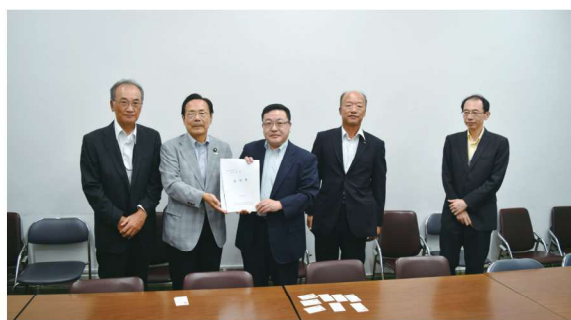
更に、国土強靱化に向けた防災・減災の取組を加速化させるため、防災重点ため池に指定されて

いないため池についても、地元負担が軽減できるような事業制度の拡充を要望した。

参加した岸野榮治里山田土地改良区理事長（多面的機能支払交付金里山田地域保全協議会代表）からは「平成30年7月豪雨災害の際に、多面的機能支払交付金をポンプの修繕費に充てることで農地の早期復旧に大いに役立った。今後も地元の農業振興に有用な多面的機能支払交付金予算の確保をしっかりとお願いしたい。」との意見が出された。

【要望項目】

- 1 現場ニーズに応えられる農業農村整備予算の確保について
- 2 国土強靱化の実現に向け、ため池の防災・減災対策の更なる充実について
- 3 多面的機能支払交付金予算の確保について



角田 隆主計局次長【財務省】



高鳥修一農林水産副大臣【農林水産省】



牧元幸司農村振興局長【農林水産省】



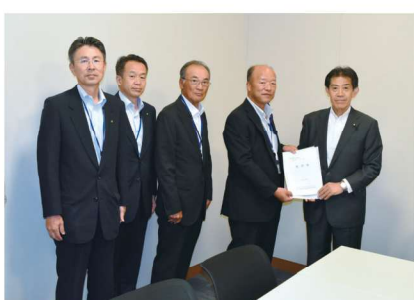
二階俊博自由民主党幹事長



加藤勝信自由民主党総務会長



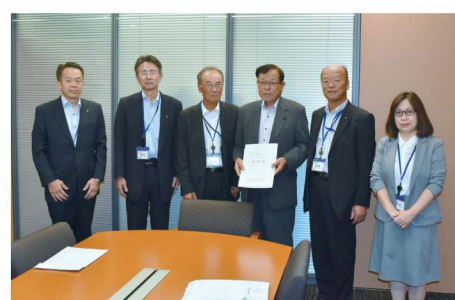
進藤金日子参議院議員



逢沢一郎衆議院議員



あべ俊子衆議院議員



池田道孝衆議院議員



小野田紀美参議院議員

「土地改良は未来への礎」を活動の基本理念に頑張ります

実りの秋を迎え、岡山県土地改良事業団体連合会の会員各位ならびに関係機関の皆様には、ますますご清祥のことと存じ上げます。

皆様には、日頃から土地改良の推進、農業農村の振興にご尽力頂いておりますことに心より敬意を表します。

また、このたびの令和最初の参議院議員選挙におきましては、お陰様をもちまして当選の栄に浴することができましたことにお礼申し上げますとともに、皆様のご期待に応えられるよう、先輩の進藤金日子参議院議員と力を合わせて頑張っております。

私は、「土地改良」とは、先人が創り上げた農地やかんがい排水施設を時代の要請に応じて整備し、農業農村の発展を図りながら次の世代に引き継いでいく「仕組み」だと考えています。

そこには、国民に食料を安定供給するとともに、かけがえのない美しい日本のふるさとを守り、後世にしっかりと引き継いでいくという国民的課題に答えていくことが求められています。こうしたことを一言で表したのが私のモットーとするところの「土地改良は未来への礎」です。

私は、これまで約1年半にわたり、全てとは言えないまでも全国を隈無く回らせていただき、それぞれの地域の皆さんが農地と水をしっかりと守ってくださっているということを強く感じました。そして今後も平場や棚田など、それぞれの地域に即した多様な農業を継続していくためにまず重要なことは、予算的・制度的措置の充実に他な



参議院議員 宮崎雅夫
都道府県水土里ネット会長会議顧問

らないと考えています。

更に、近年多発している甚大な自然災害への防災・減災の取り組み、担い手後継者の確保・育成のための取り組みも併せて着実に進めていく必要があります。

私は、これからも「土地改良は未来への礎」を政治活動の基本理念とし、各地域の現状を自分の目で拝見し、ご意見を自分の耳で拝聴させていただきながら、地域と国政のパイプ役となって地域の要請を国政に反映できるよう汗を流し続けていく所存です。

今後とも皆様のご理解とご支援、そしてご指導を賜りますよう心からお願い申し上げます。

結びに、皆様お一人おひとりのご健勝とご多幸、並びに災害からの一日も早い復旧と地域の一層の発展をお祈り申し上げます。

令和元年8月吉日

岡山県土地改良事業団体連合会 令和元年度第1回監事会 及び 平成30年度決算監査

7月16日（火）、岡山プラザホテルにおいて岡山県土地改良事業団体連合会令和元年度第1回監事会及び平成30年度決算監査を行った。



田窪行雄副会長常務理事の挨拶に続き、武久顕也代表監事（瀬戸内市長）、川上修一監事（湯野土地改良区理事長）を議事録署名人に選任し議事に入った。

監事会においては、第1号議事から第3号議事までが承認された。

平成30年度決算監査においては、事務局より決算報告が行われた後、小橋浩二県土連参事より監査書記による検査結果が報告された。

平成30年度決算は8月26日（月）開催予定の理事会で審議された後、令和2年2月17日（月）開催予定の通常総会に提出される。

【議 事】

第1号 令和元年度監査の実施について

{中 断} : 平成30年度決算監査

(1) 平成30年度事業報告・収支決算及び財産目録

(2) 事務局監査書記による検査報告

(3) 質 疑

{監事会再開}

第2号 監査結果の今後の取扱いについて

第3号 監査における改善整理を要する指摘事項の改善措置状況について（報告）

岡山県土地改良事業団体連合会 令和元年第1回理事会開催

8月26日（月）、岡山プラザホテルにおいて岡山県土地改良事業団体連合会令和元年度第1回理事会を開催した。

石井正弘会長（参議院議員）の開会挨拶に続き、山野通彦理事（矢掛町長）、山本雅則理事（吉備中央町長）を議事録署名人に選任し、第1号議案、第2号議案、第3号議案について審議の結果、原案どおり承認された。



【議 事】

議案第1号 規程の制定について

議案第2号 平成30年度事業報告・収支決算及び財産目録について

議案第3号 令和元年度一般会計収支補正予算について

土地改良区体制強化事業 令和元年度技術実践向上研修 開催



本会は土地改良区の役職員ならびに市町村の土地改良関係担当職員を対象に、7月1日（月）、2日（火）の2日間、岡山市内で土地改良区体制強化事業の一環として技術実践向上研修を開催した。講師に農林水産省中国四国農政局農村振興部の渡邊雅彦設計課長らを迎え、農業農村整備事業に関する基礎的、専門的知識を習得し、技術力向上や土地改良区等の体制強化を図ることを目的に行った。

研修会には二日間で60名が参加。アンケートでは、「様々な分野について幅広く知識を習得でき非常に became」「滞納処分や監事による監査内容について詳しく知りたい」等の意見が寄せられた。

土地改良区体制強化事業 令和元年度複式簿記導入促進特別研修 開催



土地改良法等の一部を改正する法律（平成30年6月8日公布）により、土地改良区の財務管理強化を図るため貸借対照表の作成が義務化されたことを受け、「令和元年度複式簿記導入促進特別研修」が実施された。

この研修は貸借対照表作成の適用期限である令和4年度に向けて、土地改良区の役職員等を対象に実務的知識の習得強化を目的に行われるもので、公募団体である全国土地改良事業団体連合会が47都道府県で実施している。

研修科目として、会計基準や財務諸表に関する基礎知識、土地改良施設の資産評価、記帳実務等を取り上げ、以下のとおり県内2カ所で実施し約120名が参加した。

県内において、複式簿記に移行している土地改良区はごく少数であるが、今後土地改良施設等の評価が進み、

◆研修カリキュラム◆

【1日目】

- ①農業農村整備事業の施策動向について
中国四国農政局 農村振興部 設計課長 渡邊 雅彦
- ②土地改良施設の安全対策について
中国四国農政局 農村振興部 水利整備課 管理調整係長 小倉 俊也
- ③土地改良法の改正について
中国四国農政局 農村振興部 土地改良管理課 課長補佐 石田 昭弘
- ④不祥事の事例及び役員の責任について
中国四国農政局 農村振興部 土地改良管理課 土地改良指導官 新開 康成
- ⑤鳥獣害被害の状況及びその対策、ジビエとしての利活用について
中国四国農政局 農村振興部 農村環境課 鳥獣対策専門官 山崎 正人
- ⑥会計実地検査の指摘事項について
中国四国農政局 農村振興部 設計課 積算施工係長 三成 英正

【2日目】

- ①農地中間管理機構の活用について
岡山県農地中間管理機構 業務推進本部 業務推進班長 野崎 道也
- ②岡山県における農業水利施設の長寿命化対策について
岡山県 農林水産部 耕地課 計画班 副参事 檜尾 貴正
- ③資産評価データ整備について
岡山県 農林水産部 耕地課 土地改良指導班 総括副参事 小川 幸雄
- ④ため池サポートセンターについて
岡山県 農林水産部 耕地課 防災班 総括副参事 飯塚 知治
- ⑤農業基盤整備資金の活用について
日本政策金融公庫 岡山支店 農林水産事業 融資第一課 小栗 舞
- ⑥水土里情報の活用事例について
岡山県土地改良事業団体連合会 事業部 水土里情報課 技師 廣田 竜也

資産・負債が明らかになると、土地改良区全体の財政状況把握に繋がっていくものと思われる。

（岡山市会場）開催日 令和元年7月24日（水）

開催場所 ピュアリティまきび3階

（津山市会場）開催日 令和元年7月25日（木）

開催場所 津山鶴山ホテル2階

◆研修カリキュラム◆

- ①土地改良区複式簿記の基礎知識
全国水土里ネット支援部複式簿記チーム 講師 宮本 修
- ②土地改良区における基本的な勘定科目と仕訳について
岡山県土地改良事業団体連合会 総務部長 荒木 美子
- ③新たな土地改良区会計基準について
（岡山会場）農林水産省農村振興局整備部土地改良企課 団体指導専門官 長谷川 寿
（津山会場）全国水土里ネット支援部 主幹 田中 克哉
- ④土地改良施設の資産評価マニュアルの紹介と減価償却の実務
（岡山会場）農林水産省農村振興局整備部土地改良企課 団体指導専門官 長谷川 寿
（津山会場）全国水土里ネット支援部 主幹 田中 克哉
- ⑤土地改良区会計基準に基づく会計記帳実務
全国水土里ネット支援部 主幹 田中 克哉
- ⑥土地改良区特有の勘定科目及び仕訳について
全国水土里ネット支援部 主幹 田中 克哉
- ⑦開始貸借対照表の作成方法について
全国水土里ネット支援部複式簿記チーム 講師 宮本 修

土地改良区体制強化事業 令和元年度新規担当者研修、換地計画実務研修及び換地委員等実務研修 開催



7月30日（火）、31日（水）、岡山市北区下石井のピュアリティまきびにおいて令和元年度新規担当者研修、換地計画実務研修及び換地委員等実務研修（以下、「換地研修」）が開催され、換地業務に携わる、県、市町等の職員27名が出席した。

この研修は、土地改良区体制強化事業の「地方連合会が行う研修」として換地事務の円滑化や、担当者の技術向上を図ることを目的に毎年実施されており、換地事務に不可欠な換地設計基準の定め方、土地の評価方法等に

ついて研修を行った。

参加者より担当地区の疑問、問題点等について質問があり、事業の完了、実現に向けて真剣に聞き入る様子が見られた。

◆研修カリキュラム◆

【1日目】

①換地のあらまし

岡山県土地改良事業団体連合会 換地課 技師 福島 洋行

②土地改良法の概要、土地改良法の一部改正

中国四国農政局 農村振興部土地改良管理課 農地集団化推進官 糸山 正明

③相続登記について

岡山地方方法務局 不動産登記部門 統括登記官 庄司 雅之

④農地中間管理事業について

岡山県農地中間管理機構 業務推進本部 副本部長 片田 誠一

【2日目】

①換地理論

岡山県土地改良事業団体連合会 審査室 専門指導員 福森 孝宏

②換地設計基準及び換地選定

岡山県土地改良事業団体連合会 換地課 課長代理 池本 邦夫

③土地評価・清算

岡山県土地改良事業団体連合会 換地課 課長 古橋 尚美

④公共測量の基礎知識

岡山県土地改良事業団体連合会 水土里情報課 課長 妹尾与志久

土地改良区体制強化事業 令和元年度小水力等発電技術者育成研修 開催



本研修は小水力等発電に携わる都道府県、市町村、土地改良区、県土連職員を対象に8月28日（水）、29日（木）の2日間、岡山市内において全国土地改良事業団体連合会の主催により開催された。

この研修は、小水力等発電に関する運営や維持管理の基礎的、専門的知識を習得することにより、技術者の育成を図ることを目的とするもので、農林水産省農村振興局の松岡課長補佐、有福課長補佐を始め各関係機関からの講師を迎えて行われ、2日間で32名が参加した。講義後の質疑応答では、「積立資産に関して詳しく説明してほしい」「今後の売電に関する情報があれば教えてほしい」等の意見が出された。

◆研修カリキュラム◆

令和元年度土地改良区体制強化事業小水力等発電技術者育成研修

【1日目】会計運営研修

①土地改良区会計基準に基づく会計の実際

全国水土里ネット支援部 主幹 田中 克哉

②【演習Ⅰ】資産評価・減価償却

全国水土里ネット支援部 主幹 田中 克哉

③【演習Ⅱ】仕訳から財務諸表の作成

全国水土里ネット支援部 主幹 田中 克哉

④【事例紹介】発電会計の実例

水土里ネット山形総務部 企画推進役 豊島 剛宏

【2日目】維持管理研修

①農業水利施設を活用した小水力等再生可能エネルギーの導入促進について

農林水産省農村振興局 整備部地域整備課 農村資源利活用推進班 課長補佐 松岡宗太郎

②小水力発電の概要等について

農林水産省農村振興局 整備部水資源課 保全対策班 課長補佐 有福 健二

③小水力発電設備の維持・管理

全国小水力利用推進協議会 理事 田中 忠親

④小水力発電の概要と保守点検及び導入事例

富士電機株式会社 小水力担当部長 大和 昌一

⑤太陽光発電の保守点検

一般社団法人太陽光発電協会 シニアアドバイザー 松田 高明

六ヶ水路の学校「魚つかみ取り大会」開催

7月21日（日）六ヶ水路（真庭市中地内）にて、恒例の六ヶ水路の学校「魚つかみ取り大会」が開催されました。大会は、多くの家族連れが参加して、用水路を仕切った会場にアユ、アマゴ、ウナギを多数放流して行われました。

六ヶ水路を管理する六ヶ土地改良区江田知之理事長の開会の挨拶に続いて、来賓の河野慶治岡山県議会議員、天野哲也美作県民局農林水産事業部農地農村計画課長、庄司史郎真庭市議会議員、井手原善明岡山県土連事業部技術第三課長の祝辞の後、水着姿や、半ズボンの子供たちが水路で魚を追いかけてびしょ濡れになりながら歓声を上げていました。

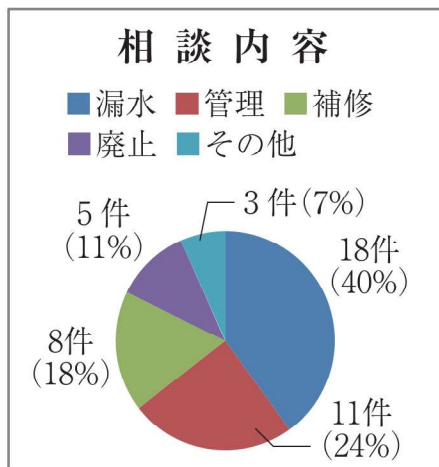
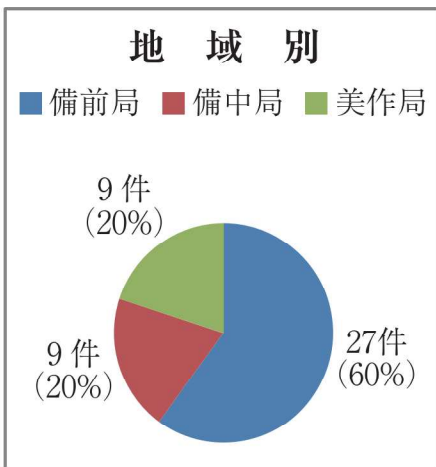
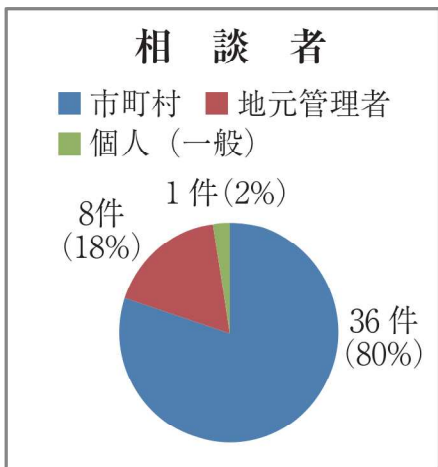
子供たちのはしゃぐ姿に保護者の方たちも自分たちの子供のころを思い出し、思わず大きな声で魚のいる場所を指さしたり、つかみ方をアドバイスするなどして、楽しい夏の思い出の一日となりました。

また、農業用水の維持管理と水の大切さを改めて学んだ一日でもありました。



岡山ため池保全管理サポートセンター活動状況

5月27日（月）の開設以降、45件の相談がありました。
(令和元年9月12日現在)
相談者の8割は市町村ですが、地元管理者や一般の個人からの相談もありました。
地域別に見ると、備前県民局管内が半数以上を占めています。
相談内容の多くは漏水に関するものや、高齢化する地域でのため池の管理方法に関するものですが、ため池の廃止についての相談も5件ありました。
相談のあった45件のうち、28件について現地確認を行っています。



現地確認28地区の内訳

市町村	地区数	市町村	地区数
岡山市	5	美咲町	2
新見市	4	笠岡市	1
矢掛町	4	瀬戸内市	1
吉備中央町	3	浅口市	1
玉野市	2	久米南町	1
和気町	2		
鏡野町	2	合計	28



漏水状況確認



ため池廃止の相談

岡山県の土地改良 題字:石井正弘書 第599号 令和元年9月27日発行

発行所●岡山県土地改良事業団体連合会 〒700-0824 岡山市北区内山下1丁目3番7号 県土連ビル
☎086-225-0921 fax086-226-0068
総務部 〒703-8292 岡山市中区中納言町1-6 岡山県土地改良会館3F
☎086-207-2200 fax086-207-2202 e-mail:info@okadoren.or.jp http://www.okadoren.or.jp
事業部 〒703-8292 岡山市中区中納言町1-6 岡山県土地改良会館2F
☎086-273-2110 fax086-272-3937
事業部津山 〒709-4603 津山市中北下1300 津山市久米支所2F
☎0868-57-7661 fax0868-57-7664

